

令和5年度 非行防止展

闇バイトの危険性 ～ SNSでの甘い誘いに注意!! ～

補導員だより

第 66 号
令和 6 年 3 月
福井市補導員連絡協議会
編集・発行
総務広報部会

自信を持つて 愛の声かけ



(地区補導員)

SNS、闇バイトなどのテーマで、小・高学年から中高生にぜひとも考えてもらいたい、注目してもらいたいと思いで声をかけました。親子、友人同士、お年寄りなどいろいろな方々が時間を割いて取り組んでくれました。誘惑の多い中、大切な人のことを思って、ブレーキがかかることを願いながら、絵手紙のような家族に気持ちを素直に伝えられる関係を築いて欲しいと思います。

非行防止展に参加して



令和5年11月5日、ワイプラザ新保店において闇バイトの危険性やSNS利用の注意点を伝える非行防止展を開催しました。

訪れた多くの家族連れや小中高生などに対して、闇バイトをテーマにしたクイズやパネルで解説し、親子で理解を深める機会を提供することができました。



↑
会場の様子→



今年度、福井市補導員に委嘱を受け、初めて非行防止展の活動に参加させていただきました。

展示コーナーでは、SNSの危険性や非行防止に関するタペストリー及び闇バイト、特殊詐欺等の展示物がありました。会場には、親子連れや夫婦で見学される方等多数おられ、説明する側としても、子どもや大人が犯罪に巻き込まれないよう一生懸命対応させていただきました。特に見学者の中に、中年の夫婦が展示物の最初から最後まで真剣に見ておられたことが印象に残っております。

今後私たち補導員の活動は微々たるものかもしれませんが、少しでも子どもたちの非行防止と健全育成に寄与できればと考えております。

(地区補導員)

～ 迫る闇バイトの魔の手 ～

闇バイトって何？

闇バイトは、**犯罪行為と引き換えに報酬を得る**ことを言います。ネット上の甘い言葉(高額バイト、中高生OK等)、友人や先輩、SNSで知り合った人からの誘い等が、闇バイトへの入口です。「怪しいな」と気づいた時には、すでに強盗や詐欺等の犯罪に加担しており、「辞めたい」と思っても、住所、家族の名前、顔写真等、自分や家族の個人情報を使って、犯行グループから『自宅に押しかける』『家族を殺す』等と脅され、抜け出すことが出来ないのです。一度でも闇バイトに手を染めると、逮捕されるまで辞めることはできず、元の生活にも戻ることのできない地獄のような日々が始まるのです。



～ 逮捕された少年たちの声 ～

- 1回だけなら大丈夫と思っていた。
- 脅されて犯行グループから抜け出すことは出来なかった。
- 家族に相談すればよかった。捕まえてくれてありがとうございました。
- 今後も、家族に影響が及ばないか不安。

闇バイトに巻き込まれないための注意点

- ★**甘い誘い**に乗らない(「高額バイト」「中高生OK」等は闇バイトの誘い文句かも!?)
- ★身近な相手(友達・先輩等)に誘われても**断る**
- ★**個人情報**を**大切に扱う**(自分はもちろん、家族や友人の個人情報も大切に!)
- ★困った時は**すぐ相談**する(信頼できる大人、ヤングテレホンにすぐ相談!)

ヤングテレホン：0120-57-4970

研修会に参加して

令和5年6月16日、福井県立図書館において福井市少年愛護センター補導員研修会が開催され、補導員約30名が出席しました。

街頭補導における声かけ時のポイントや注意事項に関する講話の後、班に分かれ、実際に街頭に出て補導活動を行いました。

話す時の相手との距離感や立ち位置がわかった。声かけのタイミング、言葉かけをどのようにするかわかった。「あの時声をかけておけばよかった…」と後悔のないようにしたいと思った。

(地区補導員)

福井市少年愛護センター主催 補導員研修会



福井県国際交流会館での研修会の様子

令和6年2月28日、福井県国際交流会館において第2回福井市少年愛護センター補導員研修会が開催され、補導員約30名が出席しました。

ヒーリングドーム・カシオペア 鈴木 みるみ氏を講師に招き、子どもたちと関わる上での心構えや技術についての講話の後、班に分かれ、福井駅周辺の補導活動を行いました。



福井県立図書館での研修会の様子

研修会に参加して、今までたくさんの先輩方や多くの人たちと補導活動に出て、皆さんの声かけの仕方を見て学び、また研修会にも参加して、学んで参考にして実行してきたつもりだったけど、最近補導時の自分の声のかけ方はダメなのかな?と、少しモヤモヤと思い悩んでいたの、今回の研修会で声のかけ方を再確認出来てよかったです。まだまだ未熟ですが、これからも自分なりに、子どもたちと目線をあわせて、思いやりのある愛のひと声を心がけた補導活動をしていきたいと思っています。

(センター)

視察研修

和敬学園・杉坂小中学校

令和5年11月27日、福井県唯一の児童自立支援施設『和敬学園』と福井市杉坂小中学校を視察し、補導員20名が出席しました。

和敬学園の概要や令和3年の小中学校開校について説明を受け、入所する子どもの特徴やその支援について学びました。

視察研修に参加して

杉坂小中学校ができるまでの準備段階でのご苦労が大変だったように思う。校長先生をはじめ、関係された皆様に敬意を表します。そして、今現在、子どもたち一人一人に対する先生方の思いやりが身に染みて感じられました。一人一人の理解は、私たちの補導活動にもつながると思います。声かけ一つとってみても、まず相手のことを考えて、適切な言葉を選ぶことが必要です。大変学びの多い半日であったように思います。和敬学園、杉坂小中学校の皆様深く感謝いたします。

(地区補導員)



和敬学園の外観

おめでとうござります

令和5年11月25日、青少年健全育成福井県民大会が越前市いまだて芸術館において開催され、当会の補導員2名が「優良な青少年愛護センター補導員に対する知事感謝状」を受領されました。

【受領された皆さん】

中嶋 淑江（木田地区）
小林 修二（明新地区）



各地区からの補導活動報告記

こんばんは！

麻生津地区です

麻生津地区は、福井市の南部に位置し、田園地域が広がる地区です。地区には、麻生津小学校、足羽中学校、足羽高校があります。

私たち補導員2名は、毎月午後4時から巡回しています。

まずは、福井鉄道の浅水駅からスタートします。浅水駅は、中学生や高校生がよく利用する駅なので、巡回時には電車を待っている学校帰りの学生を見かけます。駅を出発してから通学路、学校へと回りますが、そこではあまり学生を見かけることはありません。公園では、天気の良い日には小学生くらいの子どもたちが元気よく遊んでいます。量販店のゲームコーナーでは、小さな子ども連れの親子の姿が多くみられます。普段の補導活動では、注意をしなければならぬような子どもたちを見かけることはほとんどありませんが、子どもたちが安心して過ごせる地区であるよう、事件や事故防止のため、今後も活動を継続していきたいと思っています。

補導員誌より

(喫煙)

◆ガレリア元町で、3人がタバコを吸っていたので「タバコはまだ早いんじゃない？高校生かな？」と聞いたら、高校は中退しているとのこと。「タバコ吸ってもカッコ良くないよ。吸い殻を道路に捨てたら、むしろカッコ悪いよ。自分で始末してね」というと、「はい」と言いつて捨ててくれた。

(路上)

◆中学生の自転車5人組のうち、3人が右側通行だったので、「右側通行は危ないよ。左側通行だよ」と声をかけたら「はい、了解」と言いつて、全員左側を走っていった。

(公園)

◆公園でサッカーをして遊んでいる子どもたちに「道路にボールが飛び出さないよう気を付けてね」と声をかけた。

(ゲームコーナー、ゲームセンター)

◆ゲームコーナーで、小学生が子どもだけで遊んでいたのを声をかけた。保護者はしばらくの間なら大丈夫だろうという思いもあるだろうが、その気持が不審者が声をかけやすくなるきっかけになると思われるので、巡回の際は丁寧に声をかけていくことが必要だと感じた。

(量販店)

◆自転車置き場で習い事帰りの小学生に声をかけた。「暗くなるのが早くなってきたから、自転車のライトをつけて、早く帰ってね」と声をかけたところ、「わかりました」と返事し、ライトをつけて帰宅していった。

(公共施設)

◆アオッサの8階で、女子中学生と男子高校生が談笑していた。中学生は市内、高校生は市外の子だった。どうやって知り合ったのかを聞くと、インスタグラムで知り合ったとのこと。「SNSの使い方に気を付けてね」と声をかけた。

(子どもたちからの声)

◆コミュニケーションを大切にするということで、「こんばんは」「気を付けて帰ってね」の声をかけいつもより心がけた。知らんぷりをする子も時々いるけれど、ほとんどは「はい」「ありがとうございます」と返してくれて、本当に気持ちがいい。

書籍の紹介

会員の方から子どもに関わる大人にぜひ読んでいただきたい書籍の推薦がありましたので、ご紹介します。

①『ケーキの切れない非行少年たち』

(新潮社刊)



宮口幸治 / 原作
鈴木マサカズ / 漫画

累計60万部突破の新書漫画化。少年院と知能障害の闇に迫る！

②『子供を殺してください』

(新潮社刊)



押川剛 / 原作
鈴木マサカズ / 漫画

現代社会の裏側に潜む家族の闇と病理を抉り、その先に光を当てる。様々なメディアで取り上げられた衝撃のノンフィクション完全漫画化！

どちらも同名のタイトルの原作があります。原作については、福井市図書館で借りることが出来ます。

編集後記

今春も無事に補導協広報紙を発行出来たことを嬉しく思っています。

県都福井市が北陸新幹線延伸開業を迎え、とてもワクワクしています。駅周辺は再開発が進み、県内外の来訪者で賑わうことは喜ばしいことです。その一方、少年による犯罪行為が駅周辺であったことは補導に関わる者として残念で仕方ありません。

コロナで人々の考え方が大きく変化し、AI登場で働き方や物事の価値が変わりつつあるご時世ではありますが、「愛の声かけ」の目的やその意義は変わることのない価値あるボランティアだと確信しています。補導員の皆さん、堂々と胸を張って子どもたちに声をかけましょう。皆さんの頑張りが青少年健全育成の礎になっていくことを願います。

総務広報部会長 松田 光正